

令和4年度 災害福祉広域支援セミナー 開催要綱 ～事例で学ぶスフィア基準～

【開催目的】

平成28年に内閣府より示された避難所運営ガイドラインに、「避難所の質の向上」を考えるときに参考にすべき国際基準と記載されている「スフィア基準」について、その基本的な内容について理解するため、当会では昨年度「スフィア基準の基本と避難所支援」というセミナーを開催しました。

令和4年度は、スフィア基準を深掘りし、スフィア基準を活用した避難所支援の事例を学び、更なる被災者の生活の質を重視した避難所支援、要配慮者支援を目指していくことを目的に開催します。

※令和3年度のセミナーについても開催期間中に改めて動画を公開します。学びを深めるため、未視聴の方や再度学習されたい方は令和3年度の動画を視聴いただいた後にご参加ください。

—スフィア基準とは—

支援者が、自然災害（地震、洪水等）や人的災害（紛争、大規模事故等）で被災した方々や地域に対し、生き延びるだけでなく、その尊厳と権利を保った復興に向け「正しい支援を適切に提供」するためにまとめられた一連の理念、原則等。国際条約等を根拠に持つ国際社会で認知された「普遍的基準」。(JQAN 作成資料より抜粋)

【主催】

新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会、新潟県社会福祉協議会

【セミナー日程（動画配信期間）】

令和5年3月13日（月）～3月31日（金） ※Vimeo という動画配信サイトを利用します。

【対象者】

新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会のチーム員、社会福祉法人・福祉関係団体、行政、市町村社会福祉協議会 等

【講師】

特定非営利活動法人日本ファーストエイドソサエティ 代表理事

岡野谷 純（おかのや じゅん）氏

—講師紹介—

- 1993年、救急蘇生法を学び広める市民団体を設立。
国際基準に準拠した蘇生法プログラムを普及するとともに講師養成に尽力。
- 阪神淡路大震災において「支援活動者の安全衛生」の必要性を強く感じ、国に提唱。
以降、災害ボランティアの安全衛生コーディネーターとして活動し、研修も実施している。
- 東日本大震災では「赤ちゃん一時避難プロジェクト」を立ち上げ、乳幼児を抱える150組以上の家族の生活を支援。その後の災害においても支援継続中。
- 災害時の安全衛生コーディネーター・惨事ストレスケア・スフィア国際基準（日本語版）など、さまざまな研修プログラムの開発・普及に、楽しく携わっています。
- 著書：災害ボランティアの安全衛生プチガイド（監著：ボランティアの安全衛生研究会）、

震災から身を守る 52 の方法（分担執筆：アスコム）、
ひな型でつくる福祉防災計画（共著：公益財団法人東京都福祉保健財団）など。

■ 医学博士、救急救命士。

【開催協力】

支援の質とアカウンタビリティ向上ネットワーク（JQAN）

—団体紹介—

質が高く、受益者に対しアカウンタビリティを果たす緊急人道支援の実践に向け、2012 年から活動をしてきた「支援の質とアカウンタビリティ向上（Q&A）ワーキンググループ」を改組し、2015 年 7 月に設立されたネットワーク。

事務局 JANIC 内。

—主な活動— ※最近の活動は HP をご参照ください。 ホームページ：<https://jqan.info/>

- 人道・開発支援における質や説明責任に関する原則、基準類の情報収集と発信
- 各種原則、基準類の認証制度の設計や普及活動への参加
- 研修の企画・開催、教材・資料類の翻訳と調査分析
- トレーナー人材の確保・育成
- 提言・啓発活動、国内外への発信活動

—連絡先—

特定非営利活動法人 国際協力 NGO センター（JANIC）内事務局 メール：qa@janic.org

【プログラム】

タイトル：事例で学ぶスフィア基準

講義内容	時間（目安）
1. スフィア基準の復習	5 分
2. 避難所支援におけるスフィア基準の活用	30 分
3. スフィア基準の活用（ワーク）	10 分＋各自の時間
4. まとめ（ワーク）	5 分＋各自の時間

※ 今回のセミナーは事前に講演を収録した内容となっております。時間の中にはワークの時間も含まれます。

※ 上記時間は目安ですので、実際の配信時間とは異なります。

令和 3 年度のセミナーについても同期間視聴可能です。未視聴の方や再度学習されたい方は令和 3 年度の動画を視聴いただいた後にご参加ください。

（参考）令和 3 年度セミナー タイトル：スフィア基準の基本と避難所支援

	時間	講義内容
動画①	40 分	スフィア基準の背景を知る
動画②	50 分	スフィア基準の概要
動画③	40 分	スフィア基準の活用

【申込方法】

- ① 下記専用フォームまたはQRコードにて参加申込みを行ってください。

(グーグルフォームリンク) <https://forms.gle/vTfNtg5LFQ4opkow5> (QRコード)



申込締切：令和5年3月5日（日）まで

※回答フォームは、新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会のページにも掲載しております。

ホームページ：<https://www.fukushiniigata.or.jp/dwat/index.html>

- ② 申し込み締切後、事務局より動画の視聴方法や資料等についてお知らせいたします。

動画のURL及び資料等は、お申込み時にご登録いただいたメールアドレス宛にお送りします。

【参加費】

無料

【その他】

本セミナーに係る個人情報は、新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会事業関連のみの目的で使用し、その他の目的で使用することはありません。その管理については、「個人情報保護に関する方針（プライバシーポリシー）」に基づき適切に行い、無断で第三者に提供することはありません。

【お問い合わせ先】

新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会事務局

(新潟県社会福祉協議会 福祉人材課 小原)

電話：025-281-5524 F A X：025-282-0548

メール：n-saigainet@fukushiniigata.or.jp

特定非営利活動法人日本ファーストエイドソサエティ、代表理事
医学博士（産業精神保健・災害惨事ストレス）、救急救命士
MFA・AHA等のBLS～ALS研修・トレーニングファカルティ
人道支援の質と説明責任（Q&A）研修・国際トレーナー
災害ボランティア・安全衛生コーディネーター研修講師



【活動・研究歴】

- 1993年 市民、特に子どもの救命法を学び広める市民団体を設立、啓発活動を開始。
子どもの事故予防、小児CPR、モータースポーツにおける安全教育に関する研究
- 1995年 阪神淡路大震災。ボランティアの健康管理に重点をおいて活動を展開。必要性を
厚生労働省や社会に広く提言、ボランティアの安全健康管理に関する研究開始
- 2000年 特定非営利活動法人日本ファーストエイドソサエティ登記
- 2001年 一般市民向け「救急活動後のストレス対策のための電話相談」活動を開始。
AEDの国内導入・市民使用の許可を求める活動、首相・厚生労働省に提言。
- 2003年 ボランティアのための「予防とケア」プログラム発表、内閣府ホームページに公開
- 2006年 寒冷地・除雪ボランティアの安全衛生に関する研究、報告。
- 2007年 災害ボランティア活動「目からウロコ？の安全衛生プチガイド」発表
- 2008年 厚生労働科学研究：ボランティアの安全衛生に関する研究、報告
- 2010年 災害ボランティアの惨事ストレスにつき研究、ケアガイドの開発、報告
- 2011年 東日本大震災支援、3県自治体職員向けに惨事ストレスケアガイド作成・配布
被災者支援として「赤ちゃん一時避難プロジェクト」運営。継続して母子支援中。
- 2015年 鬼怒川決壊、常総地域にて「赤ちゃん一時避難プロジェクト」推進
「災害（人道）支援の質と説明責任」研修を国内にて展開開始
- 2016年 熊本地震にて熊本市内、大分市内で「赤ちゃん一時避難プロジェクト」推進
CHS（Core Humanitarian Standard）及びガイドブック監訳
- 2017年 「人道支援の質と説明責任（Q&A）」日本語による国際トレーナー研修実施、
災害・医療研修における講師のための講師力向上研修開催。
- 2018年 アジア諸国・中南米諸国における救命法プログラムの普及活動を開始
- 2019年 中南米における心肺蘇生法啓発活動を開始（2022 現在コロナ禍で中断中）
各地で発生している災害にて、乳幼児支援、ボランティア支援を継続中
- 2020年 コロナウィルス感染症の拡大。新たな研修方式の検討～開発。
オンラインにて蘇生法研修を開始。コロナ禍での支援者のストレス相談開始

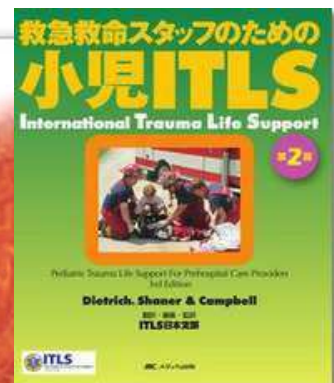
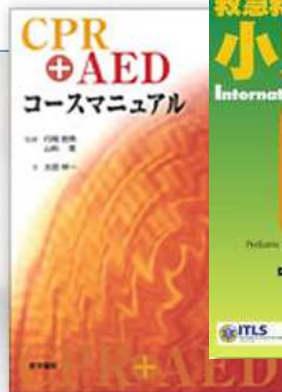
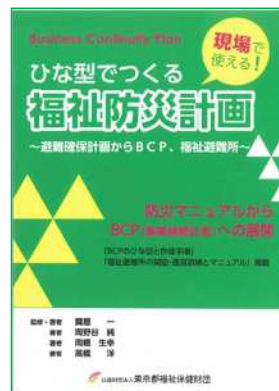
学 会：日本救急医学会、日本臨床救急医学会、日本集団災害医学会、日本蘇生学会、
日本産業精神保健学会、日本ストレス学会、日本トラウマティック・ストレス学会、
日本災害情報学会、水難学会 他

家 族：夫1名、猫4匹、カエル2匹（雨季）



著書：

- 災害ボランティアの安全衛生プチガイド（監著：ボランティアの安全衛生研究会）
- 災害時メンタルヘルスプチガイド（監著：ボランティアの安全衛生研究会）
- ひな型でつくる福祉防災計画 ～避難確保計画から BCP、福祉避難所～
（共著：公益財団法人東京都福祉保健財団）
- 震災から身を守る 52 の方法（分担執筆：アスコム）
- 惨事ストレスとは何か：救援者の心を守るために（分担執筆：河出書房新社）
- ストレス百科事典（分担執筆：丸善）
- 災害ボランティア論入門（分担執筆：弘文堂）
- 救急救命スタッフのための小児 ITLS（分担執筆：メディカ出版）
- CPR+AED コースマニュアル（共著：医学書院）



スフィアハンドブックのご紹介

1997年人道援助を行うNGOのグループと国際赤十字・赤新月運動によって、スフィア・プロジェクトと呼ばれる災害援助における行動の質を向上し、説明責任を果たすために必要な人道憲章の枠組みづくりと、生命を守るための主要4分野における技術的基準が取りまとめられました。「スフィアハンドブック 人道憲章と人道支援における最低基準」はその成果物として、人道憲章、権利保護の原則、支援時のコア基準、4分野の技術的基準が取りまとめられ、改訂されています。現在の最新版は2018年版です。

■ ハンドブックをもつ利点

- ✓ 支援計画時やモニタリング時に関係項目を参照
- ✓ 索引付きなので、キーワードに沿って関係箇所を参照しやすい
- ✓ 持ち運びしやすいコンパクトなA5サイズ



■ 入手方法

右記 QRコードを読み込むと、申込サイトにとびます。
必要事項を入力の上送信ください。



<PDFが必要な方へ>

右記QRコードからダウンロードください。



■ 価格・送料・配送方法

- ・ 価格（税込）：本体: 600円/冊 ※手数料: 1,000円/回かかります。
- ・ 送料：注文数に応じて変動
(1-2冊の場合はレターパックライト370円、3冊以上は宅急便代金（着払い）)
- ・ 配送方法：レターパックライトまたは、ヤマト宅急便

■ 問い合わせ先

JQAN事務局（国際協力NGOセンター（JANIC）内）松尾・村上

・ メール qa@janic.org

・ URL <https://jqan.info>

